

# 牛久：学校周辺に見る自然

第4号 ひたち野西近隣公園

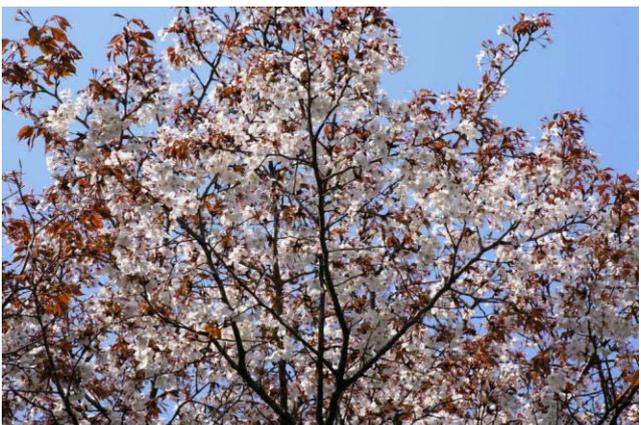
2014年4月27日発行

## ＜ 春がかけ足で ～みずべ公園 その後＞

第2号で満開のオオカンザクラの紹介をしましたが、その後サクラはヤマザクラへとうつり変わり、林の下にもスマレやフデリンドウ、ジュウニヒトエなど春の草花がにぎやかになってきました。



オオカンザクラの花みつを吸うメジロ(上・下左)とヒヨドリ(下右)。  
どちらも長い舌の先が筆先のように分かれていて、みつを吸いとりやすくできている。



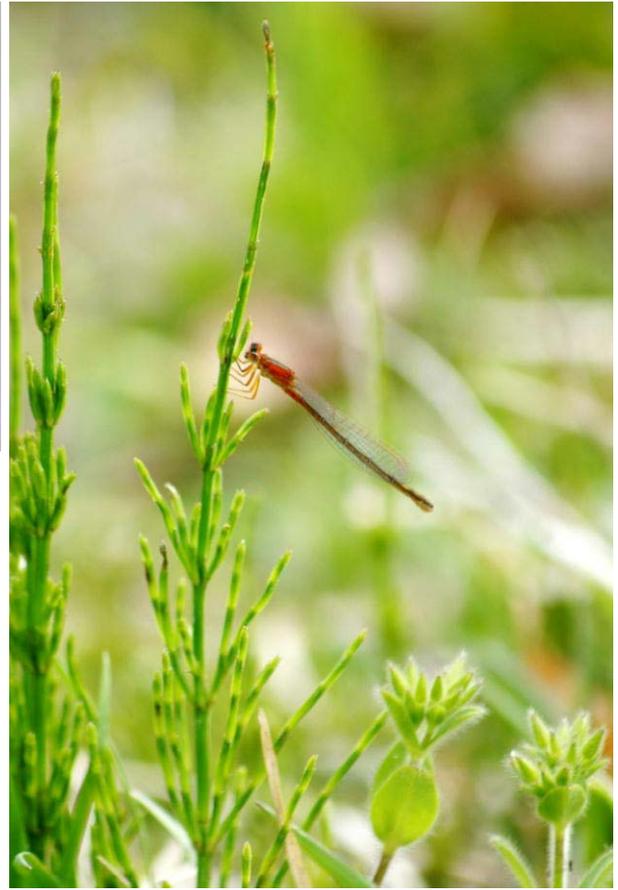
オオカンザクラの終わる頃、葉の広がりとともに花も咲き、若葉が赤茶色をしていることが多いヤマザクラ。



黄色い花も花ざかり。よく見ると、いろいろな種類が…。キジムシロ(左上)、ミツバツチグリ(右上)、ヤブヘビイチゴ(左下)、セイヨウタンポポ(右下：帯化といって、花の茎が帯のようになってたくさんの花がついていた)、…。



よく似たコナラの花(左)とクヌギの花(右)。ぶら下がっているのは、オスの花。  
右ではそこにムツボシオニグモのめすがかかっていた。どこにいるか、分かるかな？



こちらもおスとメスの花があるアカシデ(左上)。  
脱皮し成長したヘラクヌギカメムシ幼虫(左中)。  
若いメスはオレンジ色のアジイトンボ(右上)。  
コツボゴケの中に生えるミチタネツケバナ(下)。  
【理科支援員：宮内】

